

私 | は | こ | う | 考 | え | る |

「不安定プラークの診断は 可能だったか」

佐賀大学循環器・腎臓内科 野出 孝一

不安定プラークの診断は、心筋梗塞発症予防のみならず、PCIによるno reflowなどの合併症予防にとっても重要である。血液マーカーで不安定プラーク予測は現時点では困難であり、画像診断の進歩が期待される。血管内視鏡、IVUS、OCT、冠動脈CT等、種々のmodalityがあるが、血管径やプラークの性状によりそれぞれの利点がある。5人の専門医に症例提示をしていただき、各検査法による不安定プラークの定性、定量評価について、論じていただいた。これらの論文が、今後の不安定プラークの診断の展開の一助となると思う。